

西風 《2019年8月号》

——西諫早としょかんだより 【No.267】 ——

〒854-0074 諫早市山川町 1-3

諫早市立西諫早図書館

TEL: 0957 (26) 8607

FAX: 0957 (26) 8250

News

第161回 芥川賞・直木賞が決まりました!

〔芥川賞〕今村夏子 『むらさきのスカートの女』

〔直木賞〕大島真寿美 『渦 いもぢやまおんななていさんたまむす 妹背山婦女庭訓魂結び』

~人気がありますので、お早目のご予約をどうぞ~

今月の展示

小説

女性作家特集

実用書

夏の手作り

平和への願いを込めて

「お金」の見直し

おとなも自由研究

図書館カレンダー - 【8月】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

毎週月曜日は休館日です。

第3木曜日は、館内整理休館日です。

西館日和

今年も猛暑の中で蝉が大合唱しています。夏がやってきました。8月というと連想するものは、花火に、海水浴、キャンプ、高校野球、お盆など。夏休みを楽しく過ごしている子どもたちを見ながら考えると、やはり楽しいことが浮かんできますが、これは今の日本がとても平和だからだと思います。

今月は、6日広島原爆の日、9日長崎原爆の日、15日終戦記念日と、過去の戦争の歴史を振り返り、犠牲になった方々の鎮魂と平和を祈る月です。残念なことに、長崎に生まれ育った私たちには信じがたいことですが、戦争の時代が遠くなるにつれ8月6日9日が何の日か知らない人が多くなっているのも事実のようです。未来の子どもたちも楽しい夏休みが過ごせるように、大人は平和な国づくりに関心を寄せることが大切だと思います。どうぞ平和、原爆に関する本のコーナーもご利用ください。

連日気温30度を超える日が続く、熱中症対策が呼びかけられています。図書館の行き帰りにはしっかり水分補給をしてください。

分館長 池田

おすすめの1冊

『カナダの謎 なぜ『赤毛のアン』はロブスターを食べないのか?』

期間俊行/著 (日経ナショナルジオグラフィック社)



カナダといえば、『赤毛のアン』やメープルシロップを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。本書では、『赤毛のアン』やトーテムポールなど、10のテーマに分けてカナダの謎を紹介しています。その答えは、カナダの歴史と著者の取材にもとづいており、とてもわかりやすく解説されています。

ジャーナリストである著者は仕事で取材したことをきっかけに、カナダの魅力にはまり、5年の間に20回近くカナダを訪れています。極寒の大地の中で先住民と新天地を求めてやってきた移民たちによって、カナダという国はつくられました。そんなカナダの歴史にはたくさんの“宝物”があり、だからこそ魅了されたのだと著者は述べています。

第1章のカナダの謎は“なぜ『赤毛のアン』はロブスターを食べないのか?”です。物語の舞台、プリンス・エドワード島の名物はロブスターです。しかし、物語の中で、主人公アン・シャーリーがロブスターを食べる場面は見当たりません。それはなぜなのか。ぜひ、本書でお確かめください。(T)

新刊ピックアップ!

『考古学講義』	北條 芳隆/編	筑摩書房
『旅するパリより住みたいパリ』	今井 干美	ごま書房新社
『ナガサキ』	スーザン・サザード	みすず書房
『地域をまわって考えたこと』	小熊 英二	東京書籍
『皮膚はすごい』	傳田 光洋	岩波書店
『虫や鳥が見ている世界』	浅間 茂	中央公論新社
『最高のチャーハン50』	しらい のりこ	家の光協会
『走る奴なんて馬鹿だと思ってた』	松久 淳	山と溪谷社
『山小屋ガールの癒されない日々』	吉玉 サキ	平凡社
『いるいないみらい』	窪 美澄	KADOKAWA
『旧友再会』	重松 清	講談社
『旅の窓からでっかい空をながめる』	椎名 誠	新日本出版社

この他にもたくさんあります! 貸出中の本には予約ができます。ぜひご利用ください。

